

# なみ 37号

わたしがすき  
なかまがすき  
ふるさどがすき



昨日は節分。豆まきや恵方巻の丸かじりをしたご家庭も、多かったのではないでしょう。立春を迎え、暦の上で春になりました。今日の日中は春を思わせる暖かい日になりましたが、週末からまた寒波がやってくるようです。春はすんなりとはやってきてくれそうにありません。しかし、周りの木々をよく見てみると、つぼみがだんだんと膨らんできていることに気づきます。春にきれいな花を咲かせる準備は、着々と進んでいます。



子どもたちも卒業、進学、進級を見据え、日々着実に歩みを進めています。今年度も残り6週間ほどになりました。寒さの中で蓄えた力がきれいに花開くよう、保護者の皆さん、地域の皆さんにご協力いただきながら、子どもたちのがんばりをしっかり後押ししていきたいと思いを。

## 本気の避難訓練

1月29日(木)、今年度2回目の抜き打ちの避難訓練を、保育所と合同で行いました。津波浸水域にある隣接する施設として、子どもたちの命を守るために協力し合うことは当然のことです。小学生を素早く確実に避難させつつ、教職員が保育所の避難を応援することは本校の避難で欠くことはできません。今回はそれを最重要課題として取り組みました。避難開始とともに教職員は避難誘導、逃げ遅れた児童の確認、保育所避難応援の役割を瞬時に分担してそれぞれが役割を果たすことができ、約7分20秒で児童、園児、教職員全員の避難が完了しました。

今回の避難訓練は香南市防災研修会を兼ねており、東日本大震災を経験された宮城県東松島市から防災教育の最前線でご活躍されている方々を講師にお招きし、訓練の様子を観察、評価していただきました。一番評価していただいたのは、子どもたちの素早い動きと真剣な姿でした。誘導の教職員の指示を待たず行動を開始し、素早くタワーに駆け上がり、自分たちで整列、人数確認をし、到着した教員に報告することができました。子どもたちがこの動きができるからこそ、保育所の避難応援が可能になり、これだけの時間で避難が完了したとほめていただきました。

これからも様々な想定の本気の避難訓練を重ね、吉川の子どもたちに、どんな場面でも自分の力で生き延びることのできる力を育てていきます。

## おしらせ・お願い

- 生活がんばりカードの取組へのご協力、ありがとうございました。カードに書いていただいた保護者の皆さんのコメントも、たくさん集まってきています。集計でき次第、結果等お知らせします。『早起き、朝ごはん、早寝』を頭の片隅に、毎日をごして行ってほしいと思います。
- 1月9日の学校だよりでお願いした避難タワーに置く着替えが、続々と届いています。先日の避難訓練でも、やはりタワーの上は寒く、着替えの必要性を感じました。まだの子どもはなるべく早く準備をお願いします。
- 退職されたレセディ先生の後任として、ウィン先生が着任されました。早速、今日から5・6年生と一緒に勉強したり、1・2年生と給食を食べたりしてくださっています。休み時間も子どもたちと交流する姿が見られました。あっという間に、子どもたちと仲良くなってくれることだと思います。ウィン先生、よろしくお願いします。